

# 計測機器事業

## 2010年3月期の業績概要

当期は、分光測色計「CM-5」、色彩色差計「CR-5」、非接触3次元デジタイザ「KONICA MINOLTA RANGE (レンジ) 5」などの新製品を発売し、色計測分野や3次元計測分野を中心として販売拡大に努めました。その結果、中国市場では大きく伸びたものの、日米欧の主力市場では景気低迷の影響を受けて製造業における設備投資抑制の状況が続き、販売数量は伸び悩みました。これらの結果、売上高は前期比17.5%減少の69億円となり、営業損失は600万円となりました。

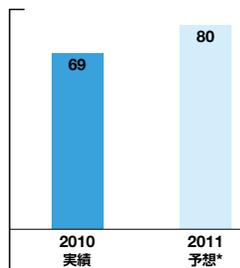
## 今後の戦略

高い成長が見込まれる中国市場での展開を強化します。また、景気変動の影響を受けにくい医用、食品分野への新製品の積極投入や、高い成長が期待されるLED照明、太陽電池評価分野へ進出し、販路拡大に努めます。

一方で、光計測で培ったセンシング技術の強みを活かして、グループのコア技術と複合化させることによって業容拡大を図ります。

### 売上高

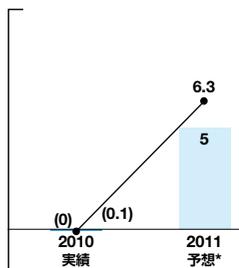
(億円)



\*予想: 2010年5月13日公表

### 営業利益(損失)/営業利益率

(億円/%)



■ 営業利益(損失)  
— 営業利益率



分光測色計  
「CM-5」



葉緑素計  
「SPAD-502Plus」



ディスプレイカラーアナライザ  
「CA310」



非接触3次元デジタイザ  
「KONICA MINOLTA RANGE5」